「ジェスチャ操作の認識精度検証実験」手順書 必要物: PC, モニター, 実験装置 1つ, ジェスチャ布スイッチ 4つ, USB1つ

事項	内容
事前準備	PC に実験装置を USB で接続しておく. 以下のプログラムを起動. ・事前学習用アニメーションスライド ・操作練習用アプリケーションプログラム ・実験測定用アプリケーションプログラム PC とモニター (研究室のミーティングスペースにあるやつを使用) を接続 PC の画面を複製モードにしておく.
挨拶・紹介	実験にご参加頂きありがとうございます. それでは、今回の実験について説明していきます. 本実験は、こちらにある4種類のジェスチャを認識するデバイスを用いて、 その認識精度の評価を行うための実験です. まず、実験前にジェスチャ操作の方法を説明する動画を見てもらった後に、 1分程度これらのデバイスを用いてジェスチャ操作の練習をしてもらいます.
操作学習	それではまず、操作方法を説明した動画を再生しますので、各ジェスチャについてどのように操作するのかご確認ください。 <事前学習用アニメーションスライドの再生> <操作練習用アプリケーションプログラムの起動> それでは次に、こちらの装置を使って1分程度各ジェスチャを自由にお試し頂きたいと思います。その際に、ジェスチャ操作の入力結果に関しては、こちらのアプリケーション画面に表示されますので、入力結果をご確認しながら全てのジェスチャを少なくとも1回以上実行してください。また、他の種類のジェスチャ操作を行いたいときは、このようにしてデバイスを貼り替えて頂くことでできます。それでは練習を始めてください。 <被験者によるジェスチャ操作事前練習>

実験説明

それでは、実験を始めていきたいと思います.

実験では先ほど練習してもらったジェスチャ操作をそれぞれ 10 回ずつ行ってもらいます.

また、実験中はこちらの PC モニターの指示に従ってジェスチャ操作を行ってください。その際、指示されていないジェスチャ操作は実行しないようにお願いします。指示されたジェスチャ操作を実行してもらった後は、モニターの指示が切り替わるまでお待ち下さい。

最後に注意事項を説明します.

画面の指示に従ってジェスチャ操作を実行し、布スイッチから指を話した 後は、次にジェスチャ操作が指示されるまで布スイッチには触れないよう にお願いします.

実験

それでは、実験を開始します.

<実験用アプリケーションの起動>

(被験者の操作後, 画面変化がない場合, ->を押す)

(同種のジェスチャ操作が終了した時,実験者が布スイッチを貼り替える)

実験終了

以上で全ての実験を終了します.

ご協力ありがとうございました.

(報酬を受け取ってもらう)